

DRUG



INFORMATION

2013 No. 28

平成25年12月18日発行

製剤変更に伴う対応について
(ドプス、ノボラピッド、ダンスール)

岐阜大学医学部附属病院・薬剤部
医薬品情報管理室
(内線7083)

※ Drug Information は医学部・附属病院 HP の下記アドレスにて提供しています。
<http://www1.med.gifu-u.ac.jp/drug-info/>

電子メールによる連絡を希望される方は下記までご連絡下さい。
di8931@gifu-u.ac.jp (担当：安田)

製剤変更に伴う対応について

DI ニュース 2013 No.27（薬事委員会結果報告）にて既にご連絡しましたが、今回3品目の薬品が製剤変更となります。各製剤の変更に伴うオーダの対応を以下に示します。

① ドブスカプセル100mg ⇒ ド布斯OD錠100mg

【旧】ドブスカプセル 100mg	【新】ド布斯 OD 錠 100mg
 	 

ドブスカプセルについては、従来の「カプセル」から「OD 錠(口腔内崩壊錠)」へ剤形が変更となります。オーダについては、カプセル製剤の院内在庫が無くなり次第、院内・院外同時に変更することとします。変更後は DO 処方は出来なくなりますので、継続投与が必要な場合は新たに薬品名から入力をお願いします。

なお、変更後は院外の各調剤薬局においても原則として OD 錠で調剤しますが、在庫状況によっては従来の製剤での調剤が必要となる場合があるため、当面の間、院外処方箋の薬品名表記を「ド布斯OD錠 100mg (Cp 変更可)」とさせていただきます。この場合、調剤薬局では病院への疑義照会なしで薬剤師の判断により調剤を行うこととし、変更内容を後日調剤薬局より連絡して頂くこととします。

② ノボラピッド注フレックスペン ⇒ ノボラピッド注フレクスタッチ

【旧】ノボラピッド注フレックスペン	【新】ノボラピッド注フレクスタッチ
	

ノボラピッド注フレックスペンについては、改良型インスリン注入器である「ノボラピッド注フレクスタッチ」へデバイスが変更となります。オーダについては、

院内処方についてはフレックスペンの在庫が無くなり次第、フレックスタッチへ変更することとします。変更後は DO 処方は出来なくなりますので、継続投与が必要な場合は新たに薬品名から入力をお願いします。

院外処方については、院内の変更と同時に新製剤を追加すると共に、当面の間両製剤とも処方出来るようにします。全患者への指導および切替えが完了した頃を見計らって旧製剤のオーダーを中止させて頂くこととします。

③ ダンスール錠 200mg ⇒ シメチジン錠 200mg「日医工」

【旧】ダンスール錠 200mg	【新】シメチジン錠 200mg「日医工」
 	 

後発品であるダンスール錠が販売中止のため、同じく後発品である「シメチジン錠 200mg「日医工」」へ採用変更となります。オーダーについては、ダンスール錠の院内在庫が無くなり次第、院内・院外同時に変更することとします。変更後は DO 処方は出来なくなりますので、継続投与が必要な場合は新たに薬品名から入力をお願いします。

なお、処方入力時には、新採用薬の「シメチジン」、旧採用薬の「ダンスール」、および先発品の「タガメット」のいずれからでも検索出来るように致します。

製剤変更に関する不明な点につきましては、薬剤部・医薬品情報管理室（内線 7083）までご連絡下さい。